

令和7年 第25回 大阪府障がい者スポーツ大会 個人競技 実施要綱

1 目的

第25回大阪府障がい者スポーツ大会(以下「府大会」という。)は、大阪府内における競技スポーツの祭典として開催するものである。また、府大会の開催を通じてパラスポーツの競技性を高めるとともに、障がい者一人ひとりの競技力の向上を図ることを目的とする。なお、府大会は、第24回全国障害者スポーツ大会(以下「全国大会」という。)に出場する選手の選考会を兼ねるものとする。

2 主催

大阪府

大阪府障がい者スポーツ協会



3 主管

大阪府障がい者スポーツ協会

ファインプラザ大阪(大阪府立障がい者交流促進センター) 指定管理者:公益財団法人フィットネス21事業団

4 競技・会場・対象障がい・開催日・時間・集合場所

競技				対象障がい(注1)	開催日	時間(注2)			集合場所	
会場						受付	開始式(注3)	競技開始		
A	陸上競技				肢体・視覚・聴覚 知的・内部	5月11日 (日)	8:30 -9:00	9:45	10:30	2階観覧席(スタンド) (雨天時 踊り場)
	万博記念競技場									
B	水泳				肢体・視覚・聴覚 知的	5月17日 (土)	9:30 -10:00	10:30	11:00	1階体育館
	ファインプラザ大阪(注4)									
C	アーチェリー				肢体・聴覚・内部	5月18日 (日)	9:30 -9:40	10:00	10:30	アーチェリー場 入口横
	浜寺公園アーチェリー場									
D	卓球・サウンドテーブルテニス				肢体・視覚・聴覚 知的・精神	5月31日 (土)	9:00 -9:30	10:00	10:20	1階正面玄関横
	東和薬品 RACTAB ドーム (大阪府立門真スポーツセンター)									
E	フライングディスク				肢体・視覚・聴覚 知的・内部	5月25日 (日)	9:15 -9:45	10:00	10:30	1階グラウンド
	ファインプラザ大阪									
F	ボウリング	2部制 (注5)	1部	知的 壮年:女子 少・青年:男子・女子	5月24日 (土)	9:00 -9:30	9:45	10:00	正面エントランス横	
	マグスミノエ		2部	知的 壮年:男子		13:00 -13:30				
G	ボッチャ				肢体	5月18日 (日)	9:15 -9:30	9:45	10:00	2階大ホール
	ファインプラザ大阪									

注1)対象障がいは、肢体(肢体不自由)、視覚(視覚障がい)、聴覚(聴覚障がい)、知的(知的障がい)、内部(内部障がい)、精神(精神障がい)、それぞれを指す。詳細(障がい区分及び種目)は、5 ページ～9 ページに記載。

注2)時間は予定のため、変更する場合がある。※受付は各市町村代表者が行う。

注3)陸上競技の「開始式」は、府大会の総合開会式を兼ねるものとする。

注4)水泳会場について、東和薬品RACTABドームメインプールが工事のため、会場を変更する。

注5)ボウリングについて、性別、年齢区分(少年:19歳以下、青年:20歳～35歳、壮年:36歳以上)により時間が異なる。

5 参加費

無料(ただし、参加に必要な交通費等の費用は自己負担)

6 申込方法

(1)個人申込

①申込先:現住所(住民票のある地)、または大阪府内(大阪市・堺市を除く)の施設や学校等に入所及び通所並びに通学している住所を管轄する市町村障がい福祉担当課等府大会担当課(以下「市町村担当課」という。)

②申込方法:別紙様式の参加申込書(注1)に必要事項を記入の上、市町村担当課に申し込む。

③申込期間:令和7年2月7日(金)～3月7日(金) ※市町村担当課受付締切(注2)

注1)参加申込書等は、大阪府障がい者スポーツ協会ホームページ(<https://www.osad.jp/>)にてダウンロード可能。

注2)申込締切後の変更は、原則認めない。

(2)学校申込(特例申込)

①申込先:府立支援学校・府立高等支援学校

②申込方法:別紙様式の参加申込書(注1)に必要事項を記入の上、所属学校に提出する。

③申込期間:学校が定めた期間(注2)(注3)。

④その他:申込先の在校生に限る。

注1)参加申込書等は、大阪府障がい者スポーツ協会ホームページ(<https://www.osad.jp/>)にてダウンロード可能。

注2)申込締切後の変更は、原則認めない。

注3)学校から大阪府障がい者スポーツ協会への提出締切は2月28日(金)までとし、その後、申込者の現住所あるいは学校所在地の市町村に申込書を転送する。

7 参加資格

(1)府大会に参加できる選手は、下記①～④の条件を満たすものとする。※確認・了承の上、申し込むこと。

①年齢が令和7年(2025年)4月1日現在で13歳以上の者。

②身体障がい者:身体障がい者手帳の交付を受けた者、知的障がい者:療育手帳の交付を受けた者、あるいはその取得の対象に準ずる障がいのある者(注1)、精神障がい者:精神障がい者保健福祉手帳の交付を受けた者、あるいはその取得の対象に準ずる障がいのある者(注2)。

③大阪府内(大阪市・堺市を除く)に現住所(住民票のある地)を有する者(注3)。

④個人情報については、業務運営の目的以外に使用することはないが、市町村名・氏名・性別・障がい種別・障がい区分・部別・記録(順位)を以下ア～オにより掲載あるいは掲載されることがある。

ア 大会プログラムへの掲載。

イ 競技会場内におけるアナウンス等による紹介や掲示板等への掲載。

ウ 競技結果(記録)等、大阪府障がい者スポーツ協会ホームページへの掲載。(注4)

エ 関係機関・当協会が作成する大会報告書等への掲載。

オ 府大会及び全国大会に関連する広報誌やホームページ、府が資料提供する記事、インターネット、テレビ・新聞等マスコミの報道や広報誌等への掲載。

注1)次の証明書類の確認をもって、療育手帳の「取得の対象に準ずる障がい」の証明(取得の対象に準ずる障がいであることを証明するもの)とする。

a 児童相談所・知的障害者更生相談所長の判定書の写し

b 医師の診断書

c 在籍(在学、通所、入所)または卒業(退所)先の所属長による証明書

注2)自立支援医療(精神通院)受給者証の交付を受けた者のみ(通院証明書を用いての証明は不可)。

注3)大阪府内(大阪市・堺市を除く)の「学校」に通学している者、及び「施設」に入所、通所している者は、その所在地の市町村から参加しても差し支えない。

注4)今大会から紙媒体の記録集は作成、配布しない。

8 競技規則

(1)全国障害者スポーツ大会競技規則(令和7年度版)及び4月末までに大阪府障がい者スポーツ協会のホームページで公開する府大会競技実施要項(競技者注意事項を含む)により行う。

なお、競技規則に定められた種目のうち、実施困難なものがある場合は、実施しない。

9 競技運営

(1) 競技方法

- ① **1人1競技のみ** 申し込み可能。陸上競技・水泳・フライングディスクは、**2種目**まで出場できる。
- ② 障がいにより年齢区分が異なる。(アーチェリー・フライングディスク・ポッチャは除く)
 - ア 身体障がい者 令和7年4月1日現在、1部:39歳以下、2部:40歳以上
 - イ 知的障がい者 令和7年4月1日現在、少年:19歳以下、青年:20歳～35歳、壮年:36歳以上
 - ウ 精神障がい者 年齢区分を設けない。
- ③ 原則として8名までの組ごとに競技を行う。ただし、陸上競技の人数は、原則10名以内とする。
- ④ 順位は各組毎に決定する。ただし、同一区分以外の者と同一組で競技させる場合、同一区分の者毎に決定する。
- ⑤ 競技場内に入場できる者は、主催者の承認を得た者に限られる。競技場内では係員の指示に従うこと。
- ⑥ 障がいの種類や程度等の理由により介助者による補助や指示が必要な場合については、申込時に介助者申請可能。ただし、介助できる範囲は、競技の開始までと競技の終了後に限る。また、いかなる場合においても、競技における応援や助言は認めない。
- ⑦ 選手の参加資格及び障がい区分については、抗議することはできない。ただし、主催者においてこれに疑義が生じた場合は、医学的検査等を含む資格審査を行い、失格または障がい区分及び組み合わせの変更を行うことがある。

(2) 競技・種目 特記事項

競技別 区分・種目(番号)表は、5 ページから 8 ページに記載。

A 陸上競技

- ア 申込種目によっては、2種目連続で競技となる場合がある。
- イ 車いすで100m以上の競走競技に出場する者は、ヘルメットが必要。※会場で貸し出し可能。
- ウ 障がい区分24、25の走幅跳、投てき競技については声や音源による援助が認められるが、投てき競技は試技に入る前に限る。※競技者前方からの援助者は競技役員(審判員など)が行うこととする。
- エ 障がい区分24は、光を通さないアイマスクまたはアイシェードの装着が必要。※各自で準備。
- オ 障がい区分24の50m競走は、音源走とする。※伴走者をつけることはできない。

B 水泳

- ア 申込種目によっては、2種目連続での競技となる場合がある。
- イ 障がい区分23は、光を通さないゴーグルの装着が必要。※各自で準備。
- ウ スタート方法は、選手が水中スタートまたは飛び込みスタートを選択できる。ただし、今大会会場は水深1.1m～1.2mのため、スタート台からの飛び込み不可。飛び込みを希望される場合は、スタート台横からの飛び込みとする。

C アーチェリー

- ア 競技経験・弓具を有している者とし、つけ矢(練習)6本の内、3本以上が的から外れた場合は、安全管理上、射場長が競技を中止させる。

D 卓球・サウンドテーブルテニス

- ア トーナメント形式を原則とするが、3名以下の場合はリーグ形式により行う場合がある。
- イ 服装は、ボールが見えにくくなるようなデザインは使用できない。また、ボールの色と明らかに違う色でなければならない。※使用ボール色(一般卓球:白 サウンドテーブルテニス:オレンジ)
- ウ サウンドテーブルテニス(障がい区分15)は、介助者(競技会場への入室可)同伴とする。また、光を通さないアイマスクまたはアイシェードの装着が必要。※各自で準備。

E フライングディスク

- ア 下記の年齢区分にて競技を実施する。
 - 少年①13歳～14歳 少年②15歳～19歳 青年①20歳～27歳 青年②28歳～35歳
 - 壮年①36歳～45歳 壮年②46歳～60歳 壮年③61歳以上

F ボウリング

- ア 出場資格は、アベレージが「80点」以上の者とする。
- イ デュアルレーン(アメリカン)方式で1人2ゲーム行う。

G ボッチャ

ア「立位」と「座位」の区分に分けて競技を行う。（「立位」・「座位」は投球時の姿勢を基準とする）

イ 競技は1対1の個人戦を2エンドで行う。（トーナメント形式とする）

ウ 個人所有のボッチャボールを使用しても構わない。なお、投球補助具（ランプ）が必要な者は各自で準備する。

(3)雨天・荒天時の取り扱い

①雨天決行を原則とするが、荒天時の取り扱いは、主催者において決定する。

②地震・台風・火災等の天災、感染症対策、その他不可抗力により大会開催が著しく困難となった場合、主催者は開催前または開催期間中であっても、開催中止を決定する。

(4)プログラム

①各競技当日、市町村等を通じて配付する。

②陸上競技・水泳の進行表は、競技実施日5日前までに大阪府障がい者スポーツ協会のホームページで公開する。

(5)ゼッケン

①ゼッケンは主催者で用意し、各競技当日、市町村等を通じて配付する。

②競技に参加する者は、競技服装に必ずゼッケンをつけるものとする。

(6)表彰

①表彰は、種目終了後または、競技終了後ただちに行う。

②各種目、組ごとの1位から3位までの選手に、それぞれメダルを授与する。なお、陸上競技における視覚障がい選手の伴走者およびボッチャにおけるランプオペレーターについても、選手と同様にメダルを授与する。

③各競技記録は、後日大阪府障がい者スポーツ協会のホームページで公開する。（6 月末予定）

10 全国大会への出場選手の選考(注1)

(1)全国大会への出場選手の選考については、全国大会選手選考委員会により選考し決定する。選考された選手のみ、府大会全日程終了後、**令和7年6月13日(金)**までに書面等にて通知する。

(2)9(3)①②により全国大会の参加申込期限までに、選手選考が間に合わない場合、全国大会への派遣選手については、過去の府大会の実績等を考慮し選手選考委員会において選考する。

(3)全国大会は令和7年10月25日(土)～27日(月)に滋賀県で開催され、大阪府選手団は、**10月24日(金)～27日(月)**の期間で派遣する予定。

(4)府大会参加申し込みの際、全国大会への参加希望の記載にあたっては、本人の意思の他、家族・所属長の確認を取り、必ず了解を得ること。また、7月～10月に開催予定の説明会・練習会および(3)の期間に参加すること。

※第1回説明会7月21日(月・祝)実施予定。

注1)府大会の結果を参考とする全国大会の派遣にあたっては、令和7年6月30日現在において引き続き大阪府内(大阪府市・堺市を除く)に現住所を有する、または大阪府内(大阪府市・堺市を除く)の「学校」に通学している、もしくは「施設」に入所・通所していることが要件となる。

11 その他

(1)出場選手は、健康管理には十分留意し、体調等に不安のある場合は医師の診断を受けること。

(2)府大会における傷害、疾病、感染症、事故等について、応急手当を除いて主催者は一切の責任を負わない。

12 問合せ先 <大阪府障がい者スポーツ協会>

〒590-0137 大阪府堺市南區城山台5丁1番2号（ファインプラザ大阪内）

TEL 072-296-6311 FAX 072-296-6313

◆競技別 区分・種目（番号）表

A. 陸上競技			種目番号	種目	競走							跳躍			投てき			
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
◎男女別・年齢区分別 ▲男女別・年齢区分なし			区分番号	障がい区分	50m	100m	200m	400m	800m	1500m	スラローム	走高跳	立幅跳	走幅跳	砲丸投	ソフトボール投	ジャベリックスロー	ビーイング投
肢体不自由	I	上肢	1	手部切断、片前腕切断、片上肢不完全、片上腕切断、片上肢完全	◎	◎							◎	◎	◎	◎	◎	
			2	両前腕切断、片前腕・片上腕切断、両上肢不完全	◎	◎				◎		▲	◎	◎				
			3	両上腕切断、両上肢完全	◎	◎						▲	◎	◎				
		下肢	4	片下腿切断、片下肢不完全	◎	◎							◎	◎	◎	◎	◎	
			5	片大腿切断、片下肢完全	◎	◎							◎	◎	◎	◎	◎	
			6	両下腿切断	◎	◎							◎		◎	◎	◎	
			7	片下腿・片大腿切断、両下肢不完全	◎								◎		◎	◎	◎	
			8	両大腿切断、両下肢完全											◎	◎	◎	
		体幹	9	体幹	◎	◎							◎	◎	◎	◎	◎	
	II	脳原性麻痺以外で車いす常用・使用	10	第6頸髄まで残存	◎	◎					◎							◎
			11	第7頸髄まで残存		◎	◎		◎	◎	◎							◎
			12	第8頸髄まで残存							◎				◎	◎	◎	
			13	下肢麻痺で座位バランスなし		◎	◎		◎						◎	◎	◎	
			14	下肢麻痺で座位バランスあり						◎					◎	◎	◎	
			15	その他の車いす		◎	◎		◎						◎	◎	◎	
	III	脳原性麻痺（脳性麻痺・脳血管疾患・脳外傷等）	16	四肢麻痺で車いす使用	◎						◎							◎
			17	けって移動	◎						◎							◎
			18	片上下肢、片上肢で車いす使用	◎						◎					◎	◎	
			19	上肢で車いす使用	◎	◎	◎		◎	◎	◎				◎	◎	◎	
			20	その他走不能											◎	◎	◎	
			21	上肢に不随意運動を伴う走可能	◎	◎	◎			◎			◎	◎	◎	◎	◎	
			22	その他走可能	◎	◎	◎			◎			◎	◎	◎	◎	◎	
	IV	電動車いす	23	電動車いす常用							◎							◎
視覚障がい			24	視力0から0.01まで	◎	◎	◎		◎	◎			◎	◎	◎	◎	◎	
			25	その他の視覚障がい	◎	◎	◎		◎	◎		▲	◎	◎	◎	◎	◎	
聴覚・平衡機能、音声・言語・そしゃく機能障がい			26	聴覚障がい	◎	◎	◎		◎	◎		▲	◎	◎	◎	◎	◎	
知的障がい			27	知的障がい	◎	◎	◎	◎	◎	◎		▲	◎	◎		◎	◎	
内部障がい			28	ぼうこう又は直腸機能障がい	◎					◎			◎	◎		◎	◎	

（注）全国大会の陸上競技において、競走競技は50mと100m、跳躍競技は立幅跳と走幅跳、投擲競技はジャベリックスローとソフトボール投（区分8は除く）の両方に申し込むことはできない。
 今回の大会で50mと100m、立幅跳と走幅跳、ジャベリックスローとソフトボール投に出場し、全国大会の選手に選考された場合は、いずれかの種目を他の種目に変更することが必要となる。

B. 水泳			◎男女別・年齢区分別 ○身体障がい者の1部<39歳以下>のみ ●身体障がい者の2部<40歳以上>のみ		種目番号	自由形		背泳ぎ		平泳ぎ		バタフライ	
						31	32	41	42	51	52	61	62
			区分番号	障がい区分	種目	25m	50m	25m	50m	25m	50m	25m	50m
肢体不自由	I	上肢	1	手部切断		◎	◎	●	○	●	○	●	○
			2	片前腕切断、片上肢不完全		◎	◎	●	○	●	○	●	○
			3	片上腕切断、片上肢完全		◎	◎	●	○	●	○	●	○
			4	両前腕切断、両上肢不完全		◎	◎	●	○	●	○	●	○
			5	両上腕切断、両上肢完全、片前腕・片上腕切断		◎	◎	●	○	●	○	●	○
		下肢	6	片下腿切断、片下肢不完全		◎	◎	●	○	●	○	●	○
			7	片大腿切断、片下肢完全		◎	◎	●	○	●	○	●	○
			8	両下腿切断、両下肢不完全		◎	◎	●	○	●	○	●	○
		上下肢	9	両大腿切断、両下肢完全、片下腿・片大腿切断		◎	◎	●	○	●	○	◎	
			10	片上肢切断・片下肢切断、片上肢不完全・片下肢不完全		◎	◎	●	○	●	○	◎	
		体幹	11	多肢切断、片上肢完全・片下肢完全、両上肢不完全・両下肢不完全		◎	◎	●	○	●	○	◎	
			12	体幹		◎	◎	●	○	●	○	●	○
	II	脳原性麻痺以外で車いす常用・使用	13	第7頸髄まで残存		◎	◎	◎		◎			
			14	第8頸髄まで残存		◎	◎	●	○	●	○	●	○
			15	下肢麻痺で座位バランスなし		◎	◎	●	○	●	○	●	○
			16	下肢麻痺で座位バランスあり		◎	◎	●	○	●	○	●	○
	III	脳原性麻痺 (脳性麻痺・脳血管疾患 脳外傷等)	17	四肢麻痺(車いす常用)、上肢に著しい不随意運動を伴う走不能		◎	◎	◎		◎			
			18	両下肢麻痺、上肢に軽度の不随意運動を伴う走不能		◎	◎	●	○	●	○	●	○
			19	片側障がい片上肢機能全廃		◎	◎	●	○	●	○	◎	
			20	その他の片側障がい走不能		◎	◎	●	○	●	○	●	○
			21	その他走可能		◎	◎	●	○	●	○	●	○
	IV	-	22	浮具使用(重度の四肢体幹機能障がい浮具を使用する者)		◎	◎	◎		◎			
視覚障がい			23	視力0から0.01まで		◎	◎	●	○	●	○	●	○
			24	その他の視覚障がい		◎	◎	●	○	●	○	●	○
聴覚・平衡機能、音声・言語・そしゃく機能障がい			25	聴覚障がい		◎	◎	●	○	●	○	●	○
知的障がい			26	知的障がい		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

(注) 1部・2部別(身体障がい者のみ)で出場可能かどうかを十分確認のうえ、選択してください。

C. アーチェリー		●男女別		種目	リカーブ		コンパウンド	
		区分 番号	障がい区分		50-30m	30-30m	50-30m	30-30m
				種目番号	81	83	82	84
肢体不自由	脳原性麻痺以外で 車いす常用	1	第8頸髄まで残存	●	●	●	●	
		2	その他の車いす	●	●	●	●	
	切断・機能障がい	3	上肢障がい	●	●			
		4	下肢障がい(いす、車いす使用を含む)	●	●			
		5	体幹	●	●			
	脳原性麻痺 (脳性麻痺・脳血管疾患 脳外傷等)	6	脳原性麻痺(いす、車いす使用を含む)	●	●			
	聴覚・平衡機能、音声 ・言語・そしゃく機能 障がい	7	聴覚障がい	●	●			
内部障がい		8	ぼうこう又は直腸機能障がい	●	●			

D.卓球			◎男女別・年齢区分別 ●男女別			
			区分 番号	障がい区分	種目番号	
					91	
肢体不自由	I	上肢障がい	1	片上肢障がい	◎	
			2	両上肢障がい	◎	
		下肢障がい	3	片下肢切断、片下肢不完全	◎	
			4	片大腿、両下腿切断、片下肢完全、両下肢不完全	◎	
			5	片下腿・片大腿切断、両大腿切断、両下肢完全	◎	
		体幹	6	体幹	◎	
	II	脳原性麻痺以外 で 車いす常用・ 使用	7	第8頸髄まで残存	◎	
			8	座位バランスなし	◎	
			9	その他の車いす	◎	
	III	脳原性麻痺 (脳性麻痺・脳血管疾患 脳外傷等)	10	車いす使用	◎	
			11	杖、松葉杖使用	◎	
			12	上肢に不随意運動あり	◎	
			13	上肢に不随意運動なし	◎	
			14	片側障がい	◎	
	聴覚・平衡機能、音声 ・言語・そしゃく機能 障がい			17	聴覚障がい	◎
	知的障がい			18	知的障がい	◎
	精神障がい			19	精神障がい	●
	視覚障がい	15	アイマスク有り	サウンドテーブルテニス	92	
		16	アイマスク無し	一般卓球	91	

(注) 視覚障がいは、視力・視野の程度に関わらず、アイマスクまたは、アイシェードの有無で出場競技を分ける。
有りの場合は、サウンドテーブルテニス 種目番号92

E. フライング ディスク	◇区分なし ●男女別				
	種目	アキュラシー		ディスタンス	
		ディスリート5	ディスリート7	座位	立位
	種目番号	96	97	98	99
肢体不自由・視覚障がい 聴覚障がい・知的障がい 内部障がい（ぼうこう又は直腸機能障がい）		◇	◇	●	●
		「ディスリート5」と「ディスリート7」、いずれかでエントリー		「立位」あるいは「座位」、いずれかでエントリー	

F. ボウリング	◎男女別・年齢区分別 知的障がいのみ
----------	-----------------------

（注）1ゲームのアベレージが「80」点以上の者が参加できる。

G. ボッチャ			△男女混合・年齢区分なし					
			区分 番号	障がい区分	詳細	競技スタイル		
						立位	座位	
肢体不自由	I	切断 ・機能障がい	1	多肢切断 両下肢完全 両上肢不完全および両下肢不完全	上肢・下肢の4肢のうち3肢体を切断し義足等を使用して立位で競技する者、もしくは脳原性麻痺以外で両下肢の3大関節（股・膝・足関節）全てに機能障がいがあり、長下肢装具を使用して立位で競技する者、もしくは両上肢の3大関節（肩・肘・手関節）のうち、1または2関節に機能障がいがあり、なおかつ両下肢の3大関節のうち、1また2関節に機能障がいがあり立位で競技する者	△		
			2	第6頸髄まで残存	肩関節周辺の筋力はほぼ正常な四肢麻痺者（肘関節の屈曲と手関節の背屈は正常）		△	
	II	脳原性麻痺以外 で車いす常用、 使用	3	第7頸髄まで残存	肩関節周囲と肘関節周囲の筋力がほぼ正常な四肢麻痺者（肩関節と肘関節、手関節の背屈と掌屈が正常だが、物がにぎれない）		△	
			4	第8頸髄まで残存	肩関節周囲と肘関節周囲と手関節周囲の筋力はほぼ正常で指の曲げ伸ばしも可能な四肢麻痺者（把持能力はあるが、指を強く開いたり閉じたりできない）		△	
			5	多肢切断	上肢・下肢の4肢のうち3肢体を切断し、車いすやいすに座った姿勢で競技する者		△	
	III	脳原性麻痺 (脳性麻痺・脳血管疾患 脳外傷等)	6	四肢麻痺で車いす常用または、使用	脳原性麻痺により四肢に可動域制限や協調運動障がいがある者で両上肢駆動による車いす使用者		△	
			7	けって移動	脳原性麻痺による両上肢の障がいがあるため両下肢または片下肢で車いすを駆動させる者		△	
			8	片上下肢で車いす常用、または使用	脳原性麻痺による片側障がい、動かすことができる側の片上肢と下肢で車いすを操作する者		△	
			9	その他走不能	脳原性麻痺による下肢障がい、杖や下肢装具の使用の有無に関わらず、走ることをできない者	△		
	IV	-	10	電動車いす常用	四肢もしくは三肢体幹機能障がいにより電動車いす(JIS T9203)を常用している者		△	

（注）座位で競技する選手（区分2～8および10）で、投球はできるが車いすの方向を変えたり、移動したりすることが機能的に困難な者にスポーツアシスタントを1名、投球することが困難でランプを使用者して競技する者にランプオペレーター1名を認める。

脳原性麻痺で、四肢に可動域制限や協調運動障がいがある者で上肢による車いす使用者はすべて四肢麻痺（区分6）として区分判定する。

◆障がい区分についての注意事項

- ・ 障がい重複している場合には、いずれかの障がい区分で参加しなければならない。
- ・ 障がい区分について「、」は「または」「・」は「および」を表す。
- ・ 「肢体Ⅰ」は、切断・機能障がい者、「肢体Ⅱ」は、脳原性麻痺以外で車いす使用者、「肢体Ⅲ」は、脳原性麻痺のグループをさす。
- ・ 完全とは、上肢(肩・肘・手関節)または下肢(股・膝・足関節)の3大関節の全てに機能障がいのあるものをいう。下肢の場合は、長下肢装具なしでは体重を支えきれないものをいう。
- ・ 不完全とは、上肢(肩・肘・手関節)または下肢(股・膝・足関節)の3大関節のうち、1または2関節に機能障がいがあるものをいう。
- ・ 関節離断は、上位の部位の切断として扱う(肘関節離断は上腕切断となる)。
- ・ 肢体不自由の7級が重複して6級に認定されている場合は、片側の障がい区分とする。
- ・ 多肢切断や両上肢障がいなどのように、複数の部位の切断や機能障がいがある場合は、3肢以上や両上肢がそれぞれ6級以上の認定を受けていなければならない。
- ・ 体幹とは、脳原性麻痺を除く、頸部・胸部・腹部及び腰部(脊柱)のみに変形があるもの。(脊柱カリエスなど)
- ・ 脳原性麻痺とは、脳性麻痺、脳血管疾患や脳外傷等による脳に起因する機能障がいという。ただし、脊髄小脳変性症の場合は、実際の障がい状況に応じて他の区分となることもある。
- ・ 座位バランスの判定は、「へそ」の位置の知覚レベルの有無が一つの判断基準となり、背もたれのない座位の状態で両手の支えなく座ることができる場合は「座位バランスあり」と判断する。
- ・ 「車いす常用」とは、日常生活で常に車いすを使用していることをいう。また、「車いす使用」とは、スポーツの場面のみに車いすを使用していることをいう。ただし、「陸上競技の電動車いす常用」については、四肢体幹機能障がいにより日常生活で常に電動車いすを使用している者とする。
- ・ 視覚障がいについて、視力は「矯正後の良い方の視力」で判定する。指数弁は視力0.01、手動弁～光覚弁は視力0として判定する。
- ・ 卓球・アーチェリーの「第8頸髄まで残存」には「第6頸髄まで残存」および「第7頸髄まで残存」は出場できるものとする。



大阪府障がい者スポーツ大会個人競技参加申込書

		★申込期限				
①	フリガナ 氏 名	オオサカ タロウ 大阪 太郎	② 性別 (男) 女			
③	生 年 月 日	2006 年 5 月 15 日	年齢 18 歳【令和7年(2025年)4月1日現在】			
④	住 所	〒(000-0000) 〇〇市〇〇町△-△-△ TEL (00) 0000 - 0000 FAX (00) 0000 - 0000				
	現在所属の 学校名・施設名等	学校名・施設名等 大阪府立△△△支援学校				
⑤	身体 身体障がい者 手帳	大阪 都道府県市 第 〇〇〇〇〇 号	障がい 等級	第 〇 種 〇 級		
		※身体障がい者手帳の記載内容について、そのとおり全文を記入してください。		脳原性の麻痺		
		両上肢機能障害(2級)・両下肢機能障害(2級)		(有)・無		
	知的	療育手帳	大阪 都道府県市 第 〇〇〇〇〇 号	障がい 程度	A・B1・(B2) 手帳なし[要証明]	
	精神	精神障がい者 保健福祉手帳等	都道府県市 第 号	障がい 等級	級	申請中の場合は 市町村窓口で確認
自立支援医療 受給者証		受給者番号	※申込者は記入しない			
⑥	障がいの分類	☒ 1 肢体 ☐ 2 視覚 ☐ 3 聴覚・平衡、音声・言語、そしゃく機能 ☐ 4 知的 ☐ 5 内部 ☐ 6 精神				
⑦	重複障がい	☐ 1 肢体 ☐ 2 視覚 ☐ 3 聴覚・平衡、音声・言語、そしゃく機能 ☒ 4 知的 ☐ 5 内部 ☐ 6 精神 ☐ 7 その他()				
⑧	競技中に使用 する補装具	補助杖	☐ 1 杖等使用	車いす	☒ 2 手動 ☐ 3 足駆動(手と足の併用を含む) ☐ 4 電動	
		下肢装具	☐ 5 短下肢装具 ☐ 6 長下肢装具	その他	☐ 7 ()	
⑨	手 話 通 訊	☒ 0 不要 ☐ 1 必要	⑩ 大阪府障がい者スポーツ大会 出場歴(申込歴)	☐ 0 なし⇒初申込 ☒ 1 あり⇒直近の大会(2024年 申込)		
⑪	全国障害者スポーツ 大会出場意思	☐ 0 なし ☒ 1 あり	⑫ 全国障害者スポーツ 大会出場歴	☐ 0 なし ☒ 1 あり⇒直近の大会(2024年 佐賀大会)		
⑬	競技 1競技 □に☑チェック	障がい 区分	1種目 番号 種目名 自己記録		※2種目 番号 種目名 自己記録	
	☒ A 陸上競技 ☐ B 水泳 ☐ C アーチェリー ☐ D 卓球・サウンドテーブルテニス含む ☐ E フライングディスク ☐ F ボウリング ☐ G ボッチャ	16	1	50m	30秒15	※2種目 申し込み可能な競技は、 陸上競技・水泳・フライングディスクのみです。
						7 スラローム 1分10秒
	特記事項 ※申し込み競技の該当する□に☑チェック D卓球除く					
	A 陸上競技			C アーチェリー		
	☒ 1 特段の理由により介助者の入場を希望 ☐ 2 【視覚障がい】伴走者を同伴 ☐ 3 【走高跳】最初のバーの高さ記入※→ < m cm> 下限1m ☐ 4 800m及び1500mの種目で日常生活用車いすを使用 ※日常生活用車いすを使用する場合、参考記録となる			☐ 1 特段の理由により介助者の入場を希望 ☐ 2 競技中に、車いす・いすを使用 ☐ 3 コンパウンドボウ並びに手に補助具、リリースエンド等の 発射装置の使用を希望(障がい区分1のみ)		
	B 水泳			E フライングディスク		
	☐ 1 水中スタート(背泳ぎを除く)を希望 ☐ 2 特段の理由により介助者の入場を希望 ☐ 3 入退水等に競技役員による補助を希望 ☐ 4 プールサイドに車いすの貸し出しを希望 ☐ 5 【視覚障がい】合図棒による合図を希望			☐ 1 特段の理由により介助者の入場を希望 ☐ 2 【視覚障がい】音源を希望 ☐ 3 右投げ ☐ 4 左投げ		
				F ボウリング		
				☐ 1 シューズの借用を希望 ※サイズ記入→< . cm> ☐ 2 ボールの借用を希望 ☐ 3 車いすを使用		
			G ボッチャ			
			☐ 1 ボールの借用を希望 ☐ 2 スポーツアシスタントまたはランプオペレーターを同伴			

方法Ⅰ市町村申込:【原本】を市町村担当者が2部コピー⇒【コピー①市町村保管】・【コピー②申込者控】⇒【原本】受理※市町村から協会へ



方法Ⅱ学校申込:【原本】を学校が2部コピー⇒【コピー①学校保管】・【コピー②申込者控】⇒【原本】受理※学校から協会へ

⇒協会から申込者該当市町村⇒市町村:届いた【原本】を市町村申込として処理



⇒【原本】を1部コピー⇒【コピー①市町村保管】⇒方法Ⅰと合わせ、【原本】市町村から協会へ

◆参加申込書の記入要領

★ 申込期限

- ・申込先により期限が異なる

① 氏名・フリガナ

- ・氏名、フリガナを記入

② 性別

- ・該当する性別に「○」をつける

③ 生年月日・年齢

- ・生年月日と令和7年(2025年)4月1日現在の年齢を記入

④ 住所・連絡先

- ・現住所・電話番号・FAX番号を記入
※緊急時や全国大会出場選手として選考された場合等、連絡する場合がある
- ・施設へ入所・通所をされている方、学校在籍者は、施設及び学校名等の名称も記入

⑤ 障がい種別(手帳)

ア 身体障がい者の場合

- ・手帳の番号及び種別・級について正確に記入
- ・手帳の記載内容について、そのとおり全文を記入
(視覚に障がいのある方は、左右それぞれの矯正視力を記入)
- ・「脳原性の麻痺」脳性麻痺、脳血管疾患、脳外傷等による脳に起因する機能障がいの有・無いいずれかに「○」を

イ 知的障がい者の場合

- ・手帳の番号正確に記入し、該当する障がい程度に「○」をつける

ウ 精神障がい者の場合

- ・手帳の番号及び等級について正確に記入
また、自立支援医療(精神通院)受給者証の場合、受給者番号を記入

⑥ 障がいの分類

- ・出場する障がい区分の欄に☑チェック

⑦ 重複障がい

- ・出場する障がい区分と異なる障がいがある場合、該当する障がい区分の欄に☑チェック

⑧ 競技中に使用する補装具

- ・肢体不自由者で競技中に装具を使用される方は、該当する装具欄に☑チェック

⑨ 手話通訳

- ・該当する欄に☑チェック

⑩ 府大会の出場歴

- ・該当する欄に☑チェック 1☑あり(出場歴(申込歴)がある)の場合 直近大会の年を記入

⑪ 全国大会の出場意思

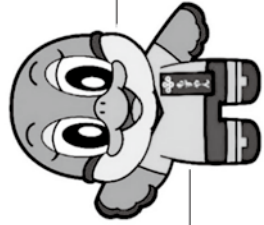
- ・全国大会の選手に選考された場合、出場の意思があるかどうかを該当する欄に☑チェック
※意思のない場合、選考対象とはならない
- ・全国大会出場選手として選考された場合、1・2・3の参加が条件となる
 - 1 大阪府選手団派遣期間:10月24日～10月27日予定
 - 2 説明会:(第1回)7月21日(月・祝)・(第2回)10月予定
 - 3 強化練習会:7月～10月の間で予定

⑫ 全国大会の出場歴

- ・該当する欄に☑チェック 1☑あり(出場歴がある)の場合 直近大会の年と開催県を記入

⑬ 障がい区分・参加希望種目等

- ・出場希望競技「1競技」に☑チェック、必要事項を記入
 - A陸上競技・B水泳・Eフライングディスクは「2種目」の出場が可
- ・障がい重複している場合、出場する障がい区分番号を記入
 - 種目ごとに障がい区分を変えることは不可
- ・自己記録(任意)※自己記録がわかる場合、記入
- ・「Gボッチャ」は、「立位」「座位」のどちらかを、種目名欄に記入
- ・各競技の特記事項の該当する事項に☑チェック
 - 「A陸上競技」☑3【走高跳】に申し込みする場合は、最初のバーの高さを記入
 - 「Fボウリング」☑1 シューズの借用を希望の場合、シューズのサイズを記入
 - 「Gボッチャ」☑2 座位で競技する選手(区分2～8および10)で、投球はできるが車いすの方向を変えたり、移動したりすることが機能的に困難な者にスポーツアシスタントを1名、投球することが困難でランプを使用者して競技する者にランプオペレーターを同伴する場合のみ☑チェック



第25回 大阪府障がい者スポーツ大会

第24回全国障害者スポーツ大会「わたSHIGA輝く障スポ」に出場する選手の選考会を兼ねた大会です

申込期間 令和7年2月7日(金)～3月7日(金) 参加費 無料

©2014 大阪府もぎやん

競技		開催日	会場	対象障がい	よくある質問
A	陸上競技	5月11日 (日)	万博記念競技場	肢体・視覚・聴覚 知的・内部	Q.どこで甲込できるの？ A.現住所(住民票のある地)の市町村障がい福祉担当課等、 役所・役場に参加申込書を提出。 学校申込の場合は所属学校に提出してください。※在校生に限る。
B	水泳	5月17日 (土)	フライングザ大阪	肢体・視覚・聴覚 知的	Q.だれがでられるの？ A.令和7年(2025年)4月1日の時点で、13歳以上の身体障がい、 知的障がい、精神障がいの方がでられます。 また、大阪府内(大阪市・堺市を除く)に現住所があるひと。 大阪府内(大阪市・堺市を除く)の「学校」に通っているひと、 「施設」に入所・通所しているひとがでられます。
C	アーチェリー	5月18日 (日)	はまでらこうえん 浜寺公園 アーチェリー場	肢体・聴覚・内部	Q.いくつかの競技にでられるの？ A.ひとつの競技に申し込みできます。 陸上競技・水泳・フライングディスクはそれぞれの競技内で 2種目出場できます。 例：「陸上と水泳の2競技」には参加できない 「陸上の50m走とソフトボール投の2種目に参加できる」
D	卓球	5月31日 (土)	とうわやくひん 東和薬品 らくたぶ RACTABドーム	肢体・視覚・聴覚 知的・精神	
E	フライングディスク	5月25日 (日)	フライングザ大阪	肢体・視覚・聴覚 知的・内部	
F	ボウリング	5月24日 (土)	マグスミ/E	知的	
G	ボッチャ	5月18日 (日)	フライングザ大阪	肢体	

【主催】大阪府 【主 管】大阪府障がい者スポーツ協会 (<https://www.osad.jp>)・フライングザ大阪

【問合先】大阪府障がい者スポーツ協会 〒590-0137 大阪府堺市南區城山台5-1-2 (フライングザ大阪内)

TEL: 072-296-6311 FAX: 072-296-6313

※詳しくは→



参加 募集